

緑のボランティア通信

2024.4.1

No.91

令和6年度の主な事業紹介をします

公益財団法人川崎市公園緑地協会は、川崎市の緑の保全と緑豊かな街づくりを推進するため、緑の活動を支援、育成及び普及啓発を行うボランティアセンターとしての機能を有した緑の拠点として、様々な事業を行っております。

緑のボランティア育成事業

川崎市の魅力ある”花と緑のまちづくり”を目的として、市政策の状況を広報し市民との協働によるパートナーシップ型事業を行います

① かわさきの森づくり（里山ボランティア育成講座）

里山の自然環境や管理手法を学習し、市内の様々な緑地で実技研修を行うことにより、里山活動の活性化と実際に活動始めるボランティアを育成します。
(実践編9回・講義編2回・特別編7回)



② こども黄緑クラブ（こども自然体験教室）

楽しみながら四季の自然に親しみ、川崎の緑に関心を寄せてもらうことで次世代の担い手を育成します。更にこどもだけでなく、大人向けの講座も開催します。
(年10回)



③ 花と緑のまちづくり講座（緑化推進リーダー育成講座）



市民による自主的な緑化推進活動の中心的人材の育成を目的に、花壇などの基礎的な知識を実技も交えて学ぶ講座を開催します。(全6回)

④ 花壇ボランティア実践講座

「③花と緑のまちづくり講座」卒業生を対象に、さらなるスキルアップを目的として開催します。(全6回)



⑤ たねダンゴ実践講座

「たねダンゴ」とは土の中に肥料を入れたダンゴに「たね」をつけて植え付ける緑化手法です。講座では、専門家を講師に招き、たねダンゴで花壇をつくる「実践講座」と、生育状況を観察しながら花壇の管理作業を行う「お手入れワークショップ」を、夏編（春～夏）・冬編（秋～冬）に分けてそれぞれ開催します。



かわさき緑のイメージキャラクター
緑の妖精 グリンピー

目次

令和6年度の主な事業紹介	1
令和6年度の主な事業紹介のつづき／お知らせ	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
いそろう植物のヒトリゴト	4

わがまち花と緑のコンクール事業

市内の花と緑の美しい景観を発掘し、それを創り出している方々の紹介を目的に実施しています。応募締め切りは4月12日。市民による運営委員で現地調査や選考委員会を行い、中原市民館にて6月29日に表彰式を開催します。表彰式はどなたでも参加でき、会場では全応募作品の展示、記念講演、花苗のプレゼントもあり、市内の素敵な景観を見ながら緑のまちづくりの交流を深めます。



緑のボランティア活動支援事業

花と緑のまちづくりを進めるため、地域の身近な緑を増やしたり、残された大切な緑を守るボランティアと団体を支援します。

①「緑の活動団体」助成事業

公開性の高い場所で植樹、花壇づくり、プランター等により緑化を行い、年間を通じて維持管理を行う団体や下草刈等の緑地保全活動を行う団体を緑の活動団体として登録し活動に係る費用の一部や、情報提供等の支援を行います。

②ボランティア通信の発行

緑のボランティアへの情報提供と連絡協調を図るとともに、広く市民に活動状況を知らせ、活動への新たな参加や新規団体の登録拡充を図ります。

③交流事業の開催

市内緑地の保全や緑化の推進にかかわる団体が、日ごろの活動の成果を広く市民に発表するとともに、これらの人々の交流を深めること等を目的に開催します。今年度は協会職員が各団体の活動場所に赴く「協会の現地訪問」を行い、その様子は緑のボランティア通信特別号で報告し紙面での交流を深めます。(年2回)

④その他

緑の活動団体を対象にした寄せ植え講習会、出前講座、道具や図書の貸し出し、緑の人材バンクへの登録と活用などに取組みます。



緑化推進・普及啓発事業

①緑地保全事業

特別緑地保全地区・緑地保全協定地・保存樹林等、市と管理協定を締結している所有者の方々に管理費の一部を助成します。

②緑化推進事業

市内で新たに「生垣づくり」及び「屋上・壁面緑化」を行う方に費用の一部を助成します。また、市内で新たに「駐車場緑化」を行う方に樹木を助成します。

③思い出記念樹「樹繫(きづな)」

出生、入園、入学、成人、結婚、賀寿、市外からの転入(新市民)など、人生の大切な思い出の記念に希望される方へ苗木を差し上げます。(受付: 通年 配布: 5月・10月)



新川崎ふれあい公園管理運営協議会 (2012年登録)



活動場所 新川崎ふれあい公園 (幸区新川崎1-1)
交通案内 JR南武線「平間駅」より徒歩10分

公園の一角には、2011年に川崎市がNPO、市民と協働で「苗木」を植樹した植栽地“体験の森”があります。植樹をきっかけに、市民とポット苗作りに携わったNPO等や市民で当会を発足し、1300㎡の“体験の森”を中心に活動しています。

元新鶴見操車場だった“体験の森”は、石ころだらけで苗木が育つか心配でしたが、地域住民による育樹活動や環境に配慮した土作りによって、植樹から12年、落葉広葉樹林（都市の里山）が育ち、芽吹きや紅葉が楽しめます。

月2回の活動日には、自然循環を大切に季節毎の維持管理、山野草や染め体験用の藍などを育て、自然を楽しみながら活動しています。火曜日は、園庭のない保育園の自然遊びや農体験をサポート。他に自然への理解を深める「体験イベント」を開催しています。

活動メンバーの高齢化が進み、「定例活動に参加し森づくり・農体験・自然遊びを親子で楽しもう」と家族会員の募集を行い、現在、個人11人、16家族36人が登録。定例活動に積極的に参加する家族が増え、活動の場が活



気づき、世代を越えた交流の場ともなっています。また、子どもたち（3歳～9歳）は、抜いた草を堆肥場へ運び、落ち葉を集め堆肥作りや伐採後の枝を伐る等、積極的にお手伝いをしていています。作業を通して、草花や虫に興味を持つなど、子どもたちには身近に自然を学べる場となっています。（千葉 美佐子）

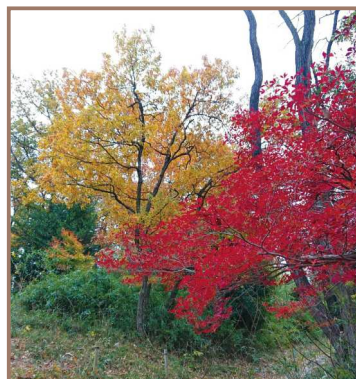
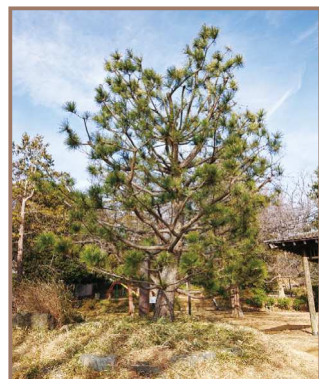


弘法松公園管理運営協議会 (2015年登録)



活動場所 弘法松公園 (麻生区百合丘2丁目10)
交通案内 小田急小田原線「百合ヶ丘駅」より徒歩10分

その昔、この地に弘法大師が植えたと言われる松の木の高さは30メートル、根廻り11メートルにも達し、弘法松と呼ばれて津久井街道を行き交う旅人のよき道標であったそうです。その巨松は昭和31年の火難のために枯死してしまいましたが、その後数回の代替わりを経て平成15年に植栽された現在の松の木は、この公園のシンボルツリーとして来園者に親しまれています。かつては峠であった地に作られた公園ですので、自然豊かな小高い山を擁し、野鳥の声を聴きながらの散策が楽しめますし、春には見事な桜やツツジ、夏には香しいヤマユリ、秋には美しい紅葉が見られます。また見晴らしも良く、



富士山や丹沢や奥多摩の山々はもちろん、晴れた冬の

日には遠く南アルプスの山並みまでもがのぞめます。さらに皆さんに楽しんでいただけるように、数か所に花壇を作りました。春に咲くかわいいチューリップを心待ちにしてくださる方も多く、夏の暑さにも負けないラベンダーも人気です。これからも、由緒ある自然豊かなこの公園が、来園者の皆さんの憩いの場所になるよう努めてまいります。（山口 良子）

いそろう植物のヒトリゴト

知らず知らずのうちに花壇に入ってくる、いそろう植物たち。
本コラムでは植物の特徴をふまえながら、彼らの「独り言」に耳を傾けていきたいと思います。



ハル ツ ミチカ
春を告げる身近な
クサバナ ムカシ
草花として、すごく昔から、
アイ ツツ
愛され続けているの。
ショウガツ ナナクサ
お正月には「七草がゆ」として
ヘイアンジダイ
平安時代から食べられて
いるのよ。

09 「ナズナ」

(アブラナ科・ナズナ属)

Capsella bursa-pastoris

日本では北海道から九州まで分布し、各地の道端や空き地、畑など日当たりのよいところならば普通に見られる二年草である。古くから、春を告げる身近な草花として親しまれており、緑の葉を広げて冬を越える特徴から、邪気を払う力を持っていると信じられていた。1月7日にナズナなどの七草を入れた七草粥を食べる風習は、年末年始やお正月を終え、胃や身体をいたわり、一年の無病息災を願う行事として平安時代からあったとされている。

ボク ジツ タ ショクアツ
僕も実は食べられる植物。
ニクリョウリ イッショ デ
肉料理と一緒に出てくる
オナ
クレソンと同じような
カラ ニガ
辛みと苦みがあるんだよ。



10 「ミチタネツケバナ」

(アブラナ科・タネツケバナ属)

Cardamine hirsuta

ヨーロッパ原産で、1970年代から日本に帰化していたとされており、国内では小笠原諸島を除き、全国に広がっている。乾燥した道ばた、畦、河川の土手などに生育する二年草である。英名を Hairy Bittercress (毛深くて苦いクレソン) という。肉料理の付け合わせに用いられる「クレソン」に似た辛味と苦味があり、おひたしやサラダ、薬味として用いることができる。

ペンネーム: きよすけ
(造園家・植物研究家)

植えてもいないのに生えてくる道ばたの小さな雑草たち。「雑草」とひとくくりに使われてしまっていますが、そんな「いそろう」たちにも一つ一つに名前と生態があります。このコーナーではそんな植物たちをご紹介します。新しく始まったこのコーナーのご意見、ご要望をお寄せください。参考にさせていただきます。

発行・編集

(公財)川崎市公園緑地協会 緑の推進支援係

〒211-0052 川崎市中原区等々力 3-12
電話 044(711)6631 FAX 044(722)8410
<https://www.kawasaki-green.or.jp>